

第3回_A班議事録

日時: 2024年12月2日(月) 13:28 - 15:52

場所: 前橋市中央公民館

参加者

- 前橋市職員

- コーディネーター

- 委員

1. 会議の目的

- 障害者のサービス利用決定の手続きについて説明。

2. 前回の振り返り

- コーディネーターが前回の会議内容を整理。
- 障害の状態別に支援や課題を議論。
- 問題意識として障害の種類や程度の個人差、目に見えない障害の存在を確認。
- 解決の方向性として「人材育成」「当事者の意見を聞く」「社会の問題として捉える」を提案。

3. 人材育成と活動支援

- 心理的な壁(自分ごととして対応できない、知らない人には関わりにくい、声をかけづらい、自己満足と思い込む)について議論。
- 行政の広報や啓発活動の重要性を確認。
- 車椅子体験やイベントの周知不足について指摘。

4. 障害者の理解と社会的孤立

- 障害者の情報が地域に伝わりにくい問題を議論。
- 地域の情報共有の仕組みの必要性を確認。
- 社協の役割と地域との連携について議論。

5. 地域の情報共有と支援

- 地域の情報を吸い上げる仕組みの必要性を確認。
- 地域ケア会議や町社協の役割について議論。
- 窓口の一元化の難しさを確認。

6. 障害者の相談窓口

- 障害者の相談窓口の存在を確認。
- 窓口の周知不足について指摘。
- 地域包括支援センターの役割について議論。

7. 当事者の意見を聞く

- 当事者の意見を聞く場の不足を確認。
- 社協の取り組みや地域共生フォーラムの紹介。
- 障害者団体との連携の重要性を確認。

8. イベントの企画と広報

- イベントの企画に当事者の意見を取り入れる重要性を確認。
- 広報の工夫や地域イベントとの共催の可能性を議論。

9. 手伝いの責任と躊躇

- 車椅子の操作や手伝いの際の責任について議論。
- 怪我のリスクや責任の問題を確認。

10. まとめと感想

- 社会全体として広報や知識の普及が必要。
- 当事者の声を聞くことの重要性を再確認。
- 「人づくり」「しくみづくり」「環境づくり」の三つの柱で整理。